

第七十四回
帝國議會
貴族院

職員健康保險法案特別委員會議事速記録第六號

付託議案(追加)

健康保險法中改正法律案

昭和十四年三月二十二日(水曜日)午後一時四十六分開會

○委員長(男爵大森佳一君) 開會ヲ致シマ

ス、今日ハ速記ノ都合デ三時迄シカ時間ガゴザイマセヌカラ、御含ミ置キヲ願ヒマス、

ソレカラ更ニ付託ニナリマシタ健康保險法中改正法律案、此ノ政府ノ説明ヲ請ヒタイ

ノデスガ、モウ暫クシマスルト、大臣ガ見エルサウデスカラ、其ノ上デ願ハフト思ヒ

マス、其ノ間職員竝ニ船員ノ兩保險法案ニ付テノ御質問等ガアリマスレバ、此ノ際大

臣ノ見エル迄開始致シタイト思ヒマス、政府委員ハ見エテ居リマスカラ……

○子爵富小路隆直君 此ノ長期給付ニ對スル國庫負擔金デアリマスガ、之ノ大體何年

目ニハドノ位ト云フコトガ定テオイデニナルダラウト思ヒマスガ、ソレヲチヨット伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(佐藤基君) 大體此ノ豫算編成

ニ於キマシテ計算シタモノガアリマスガ、ソレニ依リマスと云フト、長期給付ニ對スル國庫負擔金ハ第三年度カラ始リマシテ、

三年度ガ二千圓、ソレカラ四年度ガ二萬三千圓、五年度ガ十萬九千圓、六年度ガ二十萬圓、七年度ガ二十六萬圓、八年度ガ三十

二萬圓、九年度ガ約四十萬圓、十年度ガ約四十六萬圓、十五年度ガ七十二萬圓、二十

年度ガ六十萬圓、二十五年ガ九十萬圓、三十年度ガ約百五十一萬圓、ソレカラ段々

殖エマシテ、大體五十年度ニナリマシテ、所謂平年度負擔、ソレカラガ大體同ジ數ニ

ナリマスガ、其ノ五十年度ガ約二百九十萬圓デアリマス

○子爵富小路隆直君 伺ヒマス所ニ依リマスと云フト、前ニモ御質問ガドナカラカ

アツクヤウデシタガ、此ノ長期給付ニ對スル國庫負擔金ハ初メ政府ガ御計畫ニナツタ時

ニハ三分ノ一デアツタ、處ガ茲デ法案ニ出マシタ所デハ五分ノ一ニナツテ居ルノデス、ソレ

ガ爲ニ脱退手當金ノ給付ノ一部ヲ減額シテ、此ノ負擔金ノ減少部分ヲ補テ行クト云フ

ヤウナコトヲ聞イテ居ルノデスガ、是非非常ニ殘念ナコトト思ヒマスガ、ドウシテモ

サウ云フ風ニシナケレバナラナカッタノデセウカ、何カ外ニ理由デモアツクノデセウカ

○政府委員(佐藤基君) 國庫負擔ヲ幾ラニ

スルカト云フ問題ハ、是ハ從來ノ社會保險ト異リマシテ、年金保險デアアル、年金デア

リマスカラシテ、保險料ガ相當重クナル、ソコデ關係者ノミニ負擔サスダケデハ其ノ

負擔ガ非常ニ重クナル、ソコデ此ノ年金制度ニ依リ利益ト云フモノハ、關係者ノ利益

デアアルノミナラズ、同時ニ國家的ニモ非常ニ大キナ利益ガ得ラレル問題デアアルノミナ

ラズ、外國ノ制度ヲ見マシテモ、年金保險制度ヲ採用シテ居ル國ニ於キマシテハ、國

庫ガ相當負擔シテ居ル、或ハ三分ノ一、二分ノ一、場合ニ依リマシテ八割ヲ負擔シテ

居ルト云フ所モアルノデアリマス、サウ云フ關係デ、色々考慮ヲ致シマシタ處、船主

ト船員ト國庫ト云フモノガ均分負擔スル、即チ三分ノ一宛負擔スルト云フ一ツノ考ヲ

作ツタ譯デアリマス、處ガ此ノ社會保險トシテ、此ノ養老年金ト云フ制度ヲ作ルト云フ

コトハ今回ガ初テデアリマス、ノミナラズ、此ノ年金ト云フモノハ外國ノ例ヲ見マシテ

モ、其ノヤリ方如何ニ依リマシテハ財政上相當大キイ影響ガアル、ソレヤ是ヤヲ考ヘ

マシテ、現時ノ財政狀態、將來ノ財政ニ對スル影響ト云フコトヲ考ヘマシテ、此ノ際

ト致シマシテハ五分ノ一ト云フモノデ適當デアルト云フノデ、五分ノ一ニシタ譯デア

リマス

○子爵富小路隆直君 先日カラ色々政府ノ御説明ヲ伺ツタノデアリマスガ、此ノ海上勞

働ト云フモノハ非常ニ激烈デ、職務ノ種類ニ依ツテハ相當ノ年齢ニナルト勤マラナク

ナル、又海上ニ長ク勤務シテ居ルト、轉業ハ極メテ困難デアルト云フヤウニ承ツテ居

リマスガ、折角斯ウ云フ年金制度ヲ設ケラレテ、此ノ案ニ盛ラレテ居ルヤウナコトデ

ハ甚ダ不十分デアツテ、折角海員ニハ家庭ヘ歸ツテ、是カラ何トカヤラウト思ツテモ、

陸上デナカク、職業ヲ求メルコトガ出來ナイ、終ヒニハ悲惨ナコトデ生涯ヲ終ルト云

フヤウナコトデハ、折角海運國策ト云フヤウナ點カラ斯ウ云フコトヲ御考ニ

ナツタシテモ、甚ダ不徹底デアルヤウニ思フノデスガ、モウ少シ給付ヲ何トカシナケ

レバナラズデスネ、ナイヨリハ増シデスケレドモ、ドウモ甚ダ不徹底ノヤウニ思ヘル

ノデス、私スツカリ調べテ見マセヌケレドモ、鐵道ノ共濟組合ノ如キハ退職年金ハ今

テ其ノ位ニ迄行カナイモノデアッタラウ
カト實ハ思フノデスガ、其ノ點ヲ一ツ御伺
ヒ致シタイと思ヒマス

○政府委員(佐藤基君) 退職年金ノ額ガ原

案ニ依リマスト云フト、全期間ノ平均報酬
ノ四分ノ一ト云フモノカラ初ハナツテ居リ
マス、而シテ全期間ノ平均報酬ノ四分ノ一
ト申シマスノハ、平均的ニ申シマスト云フ
ト、大體月額二十圓足ラズデアリマス、ソ
コダツタ二十圓足ラズノモノゾハ何ニモ
ナラナイ、海員ヲ保護スルニハモウ少シ増
シテヤッタラドウカト云フ御意見ノヤウデ
アリマスガ、金額ノ點ト致シマシテハ御尤
ノ御意見デアリマシテ、之ヲ増スト云フコ
トハ保護ノ關係カラ云ヘバ、相當考ヘナケ
レバナラスト思フノデゴザイマス、處ガ若
シ増スト云フ場合ニ付テ色々ナ點ヲ合ハシ
テ考ヘナケレバナラス、其ノ第一ノ點ハ若
シ年金ヲ増スト云フコトニナレバ、結局年
金ト云フモノハ保険料及ビ政府ノ負擔金カ
ラ出來テ居ル譯デアリマス、ソコデ年金ヲ
増スト云フコトハ保険料ヲ増スカ、政府ノ
負擔金ヲ増スカ、或ハ兩者ヲ増サナケレバ
ヤツテ行ケナイ、處ガ保険料ノ點ニ付キマシ
テハ、此ノ原案ニ於キマシテハ船主船員ト
モ給料ノ百分ノ四持ツノデアツテ、相當保險

料トシテハ重イノデアリマス、ソコデ之ヲ
若シ増スト云フコトニナリマスト云フト、
船員トシテモ相當經濟上ニ影響ガアルシ、
又船主ト致シマシテ此ノ額ヲ増スト云フコ
トハ、現在ノヤウニ船ノ景氣ノ良イ時ハ宜
シウゴザイマスケレドモ、海運業ト云フモ
ノハ、御承知ノ通り不況時代ガ少クナイノ
デアリマス、サウ云フ場合ニナリマスト云
フト、此ノ負擔ヲ増スト云フコトハ海運界
ニ非常ナ影響ヲ與ヘルコトニナリ、殊ニ海
運ト云フモノハ對外的ニ競争シナケレバナ
ラヌモノデアリマスカラ、其ノ競争力ノ點
カラ考ヘマシテモ、餘程考ヘナケレバナラ
ヌ、サウ云フ風ナ點カラ申シマスト云フト、
保險料ヲ増ストハ極メテムツカシイノデ
アリマス、又國庫ノ負擔ニ付キマシテモ之
ヲ更ニ増ストコトガ出來レバ、保險ノ給付ヲ
増スコトガ出來マスケレドモ、現在ノ財政
状態及ビ將來ノ影響ヲ考ヘマスト云フト、
此ノ際ニ以上増スト云フコトハ極メテ困難
デアリマス、サウ云フ風ナ財政經濟的ノ見
地カラ言ヒマシテ、増スコトガ相當困難デ
アルト云フコトト、モウ一ツ此ノ船乘ノ自
身ノ社會的見地ト申シマスガ、道德的見地
ト申シマスガ、ソレカラ申シマシテモ、廢
シテ老後ノ生活費ノ全額ヲ給スルト云フ

○子爵富小路隆直君 御説明ヲ願ヒマシタ

コトニナリマスト云フト、假ニ五十歳ニナ
レバ、直グ廢シテシマフ、早老ノ風習ヲ助
長スルコトニナリハシナイカ、怠惰ノ風習
ヲ助長スルコトニナリハシナイカト云フ點
モ思ヒマシテ、生活費ノ全部ト云フコトハ
困難デアリマスガ、最小限度、或ハ生活費
ノ一部ト云フモノダケヲ此ノ際ハ補給スル
ト云フ制度ヲ作ルト云フコトガ適當ダト云
フヤウナ關係デ、十分ナル生活費ヲ補給ス
ルト云フ案ニハナツテ居ラスノデアリマス
○子爵富小路隆直君 御説明ヲ願ヒマシタ
ガ、只今ノ御説明ハ本制度ガ單ニ社會政策
的意味カラバカリデ立案サレタモノト云フ
ノナラバ、一應承服出來ルノデスガ、海運
國策ト云フモノヲ看板ニ掛ケテ、サウシテ
言ツテ居ラレル以上ハ、ドウモチヨット物足
リナイヤウニ思フノデスガ、私ノ申シマス
ノハ、船主及ビ船員ノ保險料ヲ増セト云フ
ノデナイ、政府ノ負擔金ガ少イデヤナイカ、
海運國策ノ上デヤルンダト云フ以上ハ、政
府ハモット奮發シテ負擔金ヲ負擔シテ宜イ
デナイカ、政府ハ實ニ此ノコトニ付テ熱意
ガ足りナイ、海運國策、海運國策ト言ツテ居
ルケレドモ、熱意ハ實ニ薄イモノデアルト
云フヤウナ一應感ジガスルノデス、如何ナ
モノデアリマスガ

○政府委員(佐藤基君) 熱意ノ問題デアリ
マスガ、此ノ養老年金ヲ作ルト云フコトガ、
是ガ又非常ニ大キイ問題デアリマシテ、一
般ノ陸上ニ付テノ社會保險制度ガナイノニ、
海上ニ付テ作ツタト云フコトハ、ソレハ海上ノ
特殊性、海運國策ト云フ點ヲ非常ニ加味シ
テ作ツタノデアリシテ、此ノ財政ノ苦シイ
中カラ斯ウ云フ風ナ年金制度ヲ作ルコトハ
決心ヲスルニハ、非常ナ熱意ガアルト云フ
風ニ考ヘテ居リマス、先チヨット申落シマシ
タガ、鐵道ノ年金デアリマスガ、鐵道ノ年
金ニ付キマシテハ、極ク若イ時カラ始メル
年金ハ別ト致シマシテ、原則トシテ官吏ト
同ジデアリマシテ、三分ノ一ニナルノデア
リマス、此ノ案ハ四分ノ一デアリマスガ、
三分ノ一カラ始ツテ居リマス、但保險料ハ是
ヨリ大分高イノデアリマス

○子爵松平保男君 今チヨット富小路子爵
ノ御意見ヲ伺ツタノデスガ、是ハ私モ最初ニ
此ノ點ニ付テ申述ベタ通りデアリマスガ、
此ノ保險料ノコトデスガ、是ガ政府ガ今ノ
五分ノ一ト云フコトヲ負擔スルト云フコト
ガ、是ガ政府ノ負擔スル額ガ多ケレバ、被
保險者ノ負擔ナリ船主ノ負擔ト云フモノガ、
百分ノ四ト云フノガ百分ノ二ニナリ、或ハ
百分ノ三ニナルト云フヤウニナルヤウニ思

○子爵松平保男君 今チヨット富小路子爵
ノ御意見ヲ伺ツタノデスガ、是ハ私モ最初ニ
此ノ點ニ付テ申述ベタ通りデアリマスガ、
此ノ保險料ノコトデスガ、是ガ政府ガ今ノ
五分ノ一ト云フコトヲ負擔スルト云フコト
ガ、是ガ政府ノ負擔スル額ガ多ケレバ、被
保險者ノ負擔ナリ船主ノ負擔ト云フモノガ、
百分ノ四ト云フノガ百分ノ二ニナリ、或ハ
百分ノ三ニナルト云フヤウニナルヤウニ思

フノデスガ、此ノ間ノ御説明デ何カソコノ所ハ關係ノナイヤウニモ伺ッタノデスガ、今申上ゲタヤウナ風ニナルドラウト思ヒマスガ、政府ノ方ガモウ少シ餘計ニ出サレ、バ此ノ兩方ノ船主及ビ被保險者ノ負擔ガ百分ノ四ヨリモモウ少シ少クナル、斯ウ云フ風ニナルト思フノデアリマスガ、其ノコトニ付テ伺ヒタイノト、ソレカラモウ一ツ今ノ政府ノ熱意ガ足ラナイト云フ富小路子爵カラノ御話デアリマスガ、是ハソレニ對スル御答ハ、年金制度ト云フコトガ今度初メテヤルノダ、ソレダカラシテ此ノ位ノ程度デモ、外ノモノカラ較ベテ良イノダ、是ハマア程度問題ニナルノデスカラ、之ニ付テ彼此ハ申上ゲマセスガ、併シモウ少シ矢張り政府ノ負擔ガ多クナツテモ、是ハ一向差支ナイモノドラウト思ヒマス、寧ロサウアリタイモノト思ヒマス、サウスレバ海員ニ對シ所謂海員ノ特殊性ニ鑑ミテ、政府ガ力ヲ入レルルト云フコトガ更ニ強クナツテ來テ、海運生活者ガ此ノ海運ノ專業ニ従事スルト云フ者モ多クナツテ來ルト思フノデアリマス、是ハ自分ノ聞キマス所ニ依リマス、非常ニ船員ガ足りナイ、ソレデ今度ノ遞信省ノ計畫デ船ガウント出來ル、サウナレバ益、足リナイノデスカラ、サウ云フ點ヲ補フ爲ニ

於テモ、即チ是ハ我が國ノ海運ノ隆興ヲ圖ルト云フ點ニ於テ、ドウシテモサウ云フモノニ政府トシテハ持ッテ行カナケレバナラナイト思フノデアリマス、其ノ點ハ今意見トシテ申上ゲマスガ、初ノ方ノコトヲチョット伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(佐藤基君) 初ノ點デゴザイマスガ、此ノ保險ト云フノハ、船主、船員ノ支拂フ保險料ト國庫負擔金ト云フモノヲ收入ト致シマシテ、經費ト致シマシテ、給付額ヲ支出スルノデゴザイマス、ソコデ支出ナリ給付ト云フモノノ内容ヲ變ヘナケレバ、サウ云フ前提デ申シマスレバ、國庫負擔金ヲモウ少シ殖シタラ、保險者ノ負擔金ノ減ルコトハ御話ノ通りデアリマス

○委員長(男爵大森佳一君) 大臣ガ見エマシタカラ、健康保險法中改正法律案ノ説明ヲ御願ヒ致シマス

○國務大臣(廣瀬久忠君) 只今議題トナリマシタ健康保險法中改正法律案ニ付キマシテ提案ノ理由竝ニ其ノ要旨ヲ説明申上ゲマス、御承知ノヤウニ健康保險法ハ工場、鑛山等ニ使用セラル、者ノ爲ニ昭和二年ノ一月一日カラ實施サレマシテ、現在ニ至ッテ居ルノデアリマシテ、其ノ實績ニ徴シマシマスニ、保險經濟上相當ノ餘裕ノアリマス場合

ニハ、法定ノ本來ノ給付ノ外ニ或程度ノ附加的ノ給付ヲ爲シ得ルノ途ヲ開クコトト致シマスノガ適當ト考ヘラレマス、ソレト共ニ職員健康保險法案及ビ船員保險法案ノ提案ニ伴ヒマシテ、改正ヲ必要トスル點ガアリマスノデ、茲ニ本改正法律案ヲ提出スルニ至ッテ譯デアリマス、改正ノ要旨ニ付キマシテ次ノ數點ヲ御説明申上ゲマス、先ヅ今回職員健康保險法案及ビ船員保險法案ガ提案サレルコトニナリマシタノデ、之ニ伴ヒマシテ、是等ノ保險制度トノ間ニ於ケル被保險者ノ異動ナドニ關聯シマシテ、健康保險法中中被保險者ノ資格ニ關スル規定及ビ保險給付ノ支給ニ關スル規定等、關係ノ規定ヲ整備改正スルコトト致シテ居リマス、次ニ現行法ニ於キマシテハ保險給付ハ被保險者ノ疾病、負傷、死亡、又ハ分娩ニ限ラレテ居ルノデアリマスガ、之ヲ被保險者ノ家族ノ疾病又ハ負傷ニ關シマシテモ、一定條件ノ下ニ或程度ノ療養費ノ補給ヲ爲シ得ルト云フ途ヲ開イテ居リマス、尙此ノ場合ニ被保險者ガ出征ヲ致シマシタヤウナ場合ニモ、其ノ家族ノ傷病ニ付テ療養費ノ補給ヲ爲シ得ルコトト致シテ居リマス、又傷病ニ關スル保險給付ノ支給期間ハ從來百八十日デアリマシタモノヲ、結核性疾患ニ關シ

マシテハ一定條件ノ下ニ之ヲ一年ニ延長スルコトガ出來ル途ヲ開イタノデアリマス、尙其ノ外事務簡捷ヲ圖リ、保險事務ノ能率ノ増進ヲ期シマス爲ニ改正ヲ致シテ居リマス、以上極ク概要ヲ申上ゲマシタ、何卒御審議ノ上速カニ御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○委員長(男爵大森佳一君) 御質問ヲ……

○子爵實小路隆直君 此ノ際チヨット伺ヒタイノデスガ、先年健康保險ニ付テ、保險醫トソレカラ保險吏員ガ共謀シテ保險金ヲ橫領シタト云フ事件ガアッタヤウニ聞イテ居リマスガ、其ノ後ハサウ云フコトヲ餘リ聞カナイヤウデスガ、サウ云フ方面ノ監督ト云フヤウナ方面ハ最近ハモウウマク行ッテ居リマスデスカ

○政府委員(清水玄君) 私カラ御答ヘ申上ゲマス、健康保險ニ關スル不正事件ト致シマシテ保險課ノ役人ガ不正ヲ致シタコトガ實ハ多少ゴザイマシタ、ソレカラ御話ノ如ク保險醫ガ不正ヲ働イタト云フ事件モゴザイマシタガ、役人ノ不正ニ付キマシテハ其ノ後非常ニ監督ヲ嚴重ニ致シテ居リマシテ、殊ニ此ノ法ノ施行ノ途中ニ於キマシテ此ノ事務ヲ地方廳ニ移管ヲ致シマシタ結果、非常ニ成績ガ好クナリマシテ、サウ云フ點ハ先ヅ大

體ナクナツテ來マシタ、ソレカラ保險醫ノ不正ニ付キマシテハ、是モ先年來非常ニ日本醫師會ト共同シテ監督ヲ嚴重ニ致シマシテ、時々保險醫ノ監査ト云フコトヲ致シテ居リマス、ソレカラ又監査以外ニ於キマシテモ報酬ノ請求ニ付キマシテ審査ヲ加ヘルトカ、色々ノ方法ヲ致シマシテ先ヅ只今ノ所デハ別ニ不正ト云フヤウナコトナシニ運用サレルヤウニ大體ナツテ居ルコトト存ジマス

○濱口儀兵衛君 此ノ今度ノ改正ニハ家族ノ傷病ノ療養費ヲ補給シヨウト云フコトニナツテ居ッテ、先日職員健康保險ノ時ニ伺ツタノデ大體分ツテ居ルノデスガ、少シマダ伺ヒ足ラヌ點ガアルノデ伺ツテ置キタイト思ヒマスガ、今度ノヤウニナリマス、此ノ世

帶主人ニ對シテ家族ガ先日ノ御話ニ三人何分ト云フ風ニ伺ツテ居ルノデ、從ツテ今後ノ療養費ト云フモノハ相當金額ガ増スヤウニ思フノデスガ、從ツテ被保險者ノ負擔ガ從來確カ一圓ニ付テ四錢トカ何トカ云フコトデアッタノデスガ、其ノ金額ハ是ハ矢張り増サナクテハナラヌヤウニナルノデスカ、サウ云フコトハドシナ風ニナルノデスカ、御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(清水玄君) 此ノ件ハ實ハ勅令ニ讓ラレテ居ルノデアリマスガ、勅令ノ方

デハ世帯主ニ對スル給付ニ付キマシテ、一定ノ制限ヲ附ケマシテ、總テノ傷病ニ付テ總テノ給付ヲスルト云フ譯デナシニ、例ヘバ入院ノ場合デアリマス、十圓以上ノ手術費デアリマス、カ云フ程度ノモノヲ先ヅ一應給付致ス積リデアリマス、從ヒマシテ其ノ費用ハ實ハ被保險者ニ付テ一般的ニ療養致シマス者ニ較ベマス、相當少イ譯デアリマス、現在ノ所ト致シマシテハ健康保險特別會計ニ相當ノ餘裕ガアリマスノデ、其ノ範圍デ一應賄ヲ附ケル積リデ居リマス、從ヒマシテ保險料ノ點ハ差當リトシマシテハ増額ヲ致サナイノデアリマス、斯ウ云フ積リデアリマス

○濱口儀兵衛君 サウスルト、此ノ家族ノ療養費ノ補助ト云フコトハ、此ノ法律案ガ決ツタラ直グ矢張り執行サレル譯デスカ、或時期迄待ツノデゴザイマス

○政府委員(清水玄君) 其ノ點ハ實ハ此ノ家族給付ニ付キマシテハ手續ノ上其ノ他色々準備ノ都合ガゴザイマスノデ、直グト云フ譯ニハ參リマセヌノデアリマス、色々ノ準備ノ整ヒマシタ上デ施行スルコトニ大體考ヘテ居ル次第デゴザイマス、豫算ノ方モ來年度一年度分ハ實ハ取ツテゴザイマセヌ

○委員長(男爵大森佳一君) 御質問ハ健康

保險法ニ限ラズ、三法案トモゴチャクニ御質問ニナツテ宜シウゴザイマス

○河原田稼吉君 チョット私今拜見シタノデスガ、此ノ今ノ健康保險法中改正法律案ノ保險官署ヲ行政官廳ニ改メタ理由ト、ソレカラモウ一ツ其ノ施設ニ支障ナキ限リ被保險者ニ非ザル者ヲシテ利用セシムル途ヲ開クコト、是ハ誠ニ結構ナコトト思ヒマスノデスガ、此ノ現狀ハドウナツテ居リマスカ、之ヲ一ツ御答ヲ願ヒタウゴザイマス

○政府委員(清水玄君) 第一ノ點ハ是ハ別ニ深い意味ハゴザイマセヌノデ、今日職員健康保險法案、船員保險法案ガ出マシタ際ニ、大體行政官廳ト云フ字ニ統一ヲ致シマシテ、別ニ保險官署ト云フ字ヲ使ハナカツタノデアリマス、ソレニ件ヒマシテ健康保險ノ方モ同ジ文句ニシタ方ガ何カニ付テ便利デアリマスノデ、サウ改メタノデアリマス、ソレカラ施設ヲ利用シマスル點ノ御話デゴザイマスガ、是ハ現狀トシマシテハ、御承知ノ所謂保健施設トシマシテ色々ナ施設ヲヤツテ居リマス、殊ニ健康相談所ノ如キモノモ相當ヤツテ居ル譯デアリマス、現在ハ被保險者ダケニ利用スルコトニ限ラレテ居リマシテ、其ノ家族等ハ利用スルコトガ出來ナイコトニナツテ居リマス、偶、相當

餘力ノアル場合モアリマスノデ、是ハ世帯ニモ利用サセタ方ガ便利デアラウト云フヤウナ考カラサウ云フ風ニ改正シタト云フ譯デアリマス

○河原田稼吉君 サウシマス、行政官廳ト改メテ、調ニ行ク場合ニ警察官ガ調ニ行ク、サウ云フコトハナイ譯デスカ、ソレカラモウ一ツ被保險者ニ非ザル者ト云フ範圍ハ今ノヤウニ家族トカサウ云フモノニ限ツテ居ルノデスカ、或ハ一般ノ民衆ニモ利用ノ途ヲ開クノカドツチナンデスカ

○政府委員(清水玄君) 行政官廳ノ御話デゴザイマシタガ、是ハ別ニ文句ガ改リマシタカラ、施行ノ方法ガ變ルト云フヤウナ積リデハゴザイマセヌ、矢張り現在ノ通り健康保健課ノ職員ガサウ云フ風ナ檢査ヲスルト云フヤウナ積リデ居リマス、只今ト致シマシテモ、警察官吏ハ使ツテ居ラスノデアリマス、今後モ別ニ使フ積リハアリマセヌ、ソレカラ第二ノ點ハ大體立法ノ趣旨ト致シマシテハ世帯ニ利用サセタイト云フ積リデ居リマス

○子爵富小路隆直君 船員保險ニ付テ尙一點伺ツテ置キタイト思ヒマスガ、此ノ年金制度ノ責任準備金ノ運用問題デスガ、何レモウ既ニ御方針ヲ立テテ居ラレラウト思

ヒマスガ、今回モ決算委員會ナド起テツタ問題デスガ、國債ノ利率ガ下ツタ爲ニ鐵道ノ共濟組合ナドニ於テハ直チニ給付ニ差支ガ起ツタト云フ問題ガ起ツテ居リマス、此ノ制度ニ於キマシテハドウ云フ立テ方ヲシテ居ラレマスカ知リマセヌガ、將來只今申シマシタヤウニ、利率ガ下ツタ爲ニ其ノ基礎ニ動搖ヲ起スト云フヤウナコトガ起ツタ場合ニ、ドウ云フ處置ヲ執ラレマスカ、國庫ノ負擔金ヲソレダケ増サレマスカ、或ハ保險料ノ率ヲ増スカ、或ハ又給付ノ内容ヲ低下スルカ、其ノ三ツニアルト思フノデスガ、ドウカサウ云フヤウナ場合ニハ保險料ノ率ヲ上ゲルトカ、是以上給付ノ内容ヲ低下スルト云フヤウナコトノナイヤウニ御願ヒシタイト思フノデスガ、ドウ御考ニナリマスカ、其ノ點ヲチヨット承ツテ置キタイト思ヒマス

ニ運用スルノデアリマス、此ノ豫定利率ハ三分五厘ト致シテ居リマス、ソレデ三分五厘ハ大體國債ノ利廻デアリマシテ、將來モ此ノ三分五厘ハ十分維持シテ行ケル、地方債等ハモウ少シ利率ガ高イノデアリマスガ、今日デハ國債ノミデモ三分五厘、地方債モ宜イト云フコトニナレバ、此ノ三分五厘ハ十分維持出來ルト考ヘテ居リマス、從ヒマシテ、此ノ利廻ヲ割ル爲ニ、掛金ヲ増ストカ、或ハ國庫ノ補助ヲ要スルトカト云フヤウナコトハナイ考デアリマス、只今他ノ制度デ色々利廻減少ノ爲ニ困難ヲ來シテ居ルト仰シヤイマシタガ、ソレハ既設ノ共濟組合等ニ付キマシテハ、豫定利率ヲ實際上五分トカ、五分五厘トカ高く見積ツタ結果デアリマシテ、ソレデ色々困難ガ起ツテ居リマスガ、此ノ保險ニ於キマシテハ左様ナ虞ハナイト考ヘテ居リマス

○公爵鷹司信輔君 只今チヨット伺ヒマシタ所ニ依リマス、健康保險ガ今度擴張サレルニ要スル金ハ、今餘裕ガアルカラ、ソレヲ充テルト云フヤウナ御話ニ承リマシタガ、今後餘裕ガナクナルヤウナ場合ガアルノデゴザイマセウカ、ナイノデゴザイマセウカ、又若シアルヤウナ場合ニハ、何かソレニ對應スル御腹案デモアリマセウカ、チヨット伺ヒマス

○政府委員(進藤誠一君) 只今ノ御話ノ通り、此ノ給付ノ擴充ハ現在ノ保險料ノ餘裕ヲ以テ致スノデアリマス、此ノ餘裕ガ大體過去ノ實績カラ今後モ確實ニ出來ルヤウナ見込デ改正致シタノデアリマス、併シナガラ將來萬一産業ガ非常ニ不況ニナリ、職工ガ減リ、賃銀ガ下ル、斯ウ云フコトニナリマシタヤウナ場合ニハ、剩餘金ガ減ルト云フコトガナイトハ斷言致シ兼ネルノデアリマス、サウ云フ場合ニ付キマシテノ對策ト致シマシテハ、今回ノ給付ノ擴充ハ法定ノ給付、詰リ強制給付ニハ致サナカッタノデ、餘裕ガアルカラ、任意ニ家族ニモ及ス、或ハ一年ニ延長スル、斯ウ云フノデアリマシテ、サウ云フ際ニ於キマシテハ、必ズシモ義務デハナイ、併シナガラ一度ヤリマシタ以上、之ガ廢止ト云フコトハ相當困難ダラウ

ト思ヒマス、サウ云フ場合ニナリマシタラ、又他ノ方法ヲ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、サウ云フ場合デモ一應ハ困レバ給付ノ内容ヲ減少スル、或ハ止メルト云フコトモ差支ナイコトニナツテ居ルト思ヒマス

○濱口儀兵衛君 サッキ御話ガアッタ家族ノ利用サレル範圍ガ御極リニナツテ居ルナラバ、一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(清水玄君) 大體先刻申上ゲタヤウナ範圍デアリマス、入院ト、十圓以上要シマス處置、手術ノ場合ニ其ノ半額、入院ノ場合モ半額ヲ補給スル、ソレニハ其ノ世帯主デアル被保險者ガ一年以上被保險者デアツタコト云フヤウナ條件ヲ大體附ケル積リデアリマス

○濱口儀兵衛君 入院ト云フノハドシナ意味デスカ

○政府委員(清水玄君) 所謂入院デアリマシテ、病院ニ入りマシタ場合デアリマス

〔副委員長子爵實吉純郎君委員長長席ニ著ク〕

○男爵小池正晃君 先程河原田委員ヨリ御尋ネシタ第二十三條ノ二デゴザイマスガ、先程ノ御答辯デ健康相談所ヲ一般ニ利用サシテ見ルノダガ、ソレハ矢張り被保險者ノ家族ニ限ルヤウナ御答デアリマシタガ、若シ

之ガ公衆一般ニ利用サセルト云フコトニナリマス、矢張り多少開業醫ノ方ニ影響ガアラウト思ヒマス、此ノ點ハ確カニ被保險者ノ家族ニ限ルト云フ御意見デアリマスカ、モウ一應念ノ爲ニ伺ッテ置キマス

○政府委員(清水玄君) 其ノ點ハ先刻御話シ致シマシタ如ク、被保險者ノ家族ニモ療養金ガ及ビマスノト同ジヤウナ趣旨デ、被保險者ノ家族ニモ相談所等ノ施設ヲ利用サセタイ、斯ウ云フ積リデ立法致シタ譯デアリマス、唯多少例外トシテ考ヘラレマスノハ、此ノ健康保險ノ特別會計デ作ッテ居リマス政府直接ノ施設デアリマス、或ハ健康保險組合ノ被保險者ニモ利用サセルコトガ便宜デアル場合ガアルカト思ヒマス、ソレト同時ニ健康保險組合ノ作ッテ居リマス施設ニ對シテ、政府管掌ノ方ノ被保險者ニモ利用サセルコトガ便宜デアル場合モアラウカト思ヒマス、サウ云フ例外ハ或ハアラウカト思ヒマスガ、被保險者デモ家族デモナイ一般ノ人ニ迄利用サセルト云フヤウナ趣旨ニハ考ヘテ居リマセヌ

○男爵小池正晃君 政府ハサウ御考ニナッテモ、健康相談所ニ若シ公衆ガ來タラ拒マレナイデ、診ラレルデセウ

○政府委員(清水玄君) 是ハ現在ノ健康保

險ノ相談所デモサウデアリマスガ、被保險者デアリマス、被保險者デアルト云フ證票ヲ持ッテ參リマス、今度若シ之ヲ家族ニ擴張致シマスレバ、自然家族デアルト云フ證票デモ持ッテ參ルコトニナリマス、一般ノ人ガ來マシテモ、現在デモ斷ッテ居リマスヤウニ、矢張り斷ルト思ヒマス

○男爵園田武彦君 船員保險ニ付テ御伺ヒ致シタイ、先日船員保險ニ關聯シマシテ、大臣カラ海運國策ニ付テハ優秀船ヲ保持スルト云フコトガ重大ナ問題ダト云フ仰セガアッタデアリマスガ、現在各國ハ優秀船ヲ競争シテ建造シテ居リ、使用シテ居ルノデアリマスガ、我が國ニ於テモ近時段々優秀船ガ出來テ參リマシタ、此ノ優秀船ノ意味ハ色々アリマセウガ、速力ノ増加、又「ト」數ノ増加、其ノ他船内ノ衛生設備トカ、總テノ海員ニ對スル設備ガ段々完備サレテ、又ハ勞働ノ關係ニ於テモ種々ナ機械的設備モ備ッテ來ルヤウニ考ヘラレマシタガ、是デ船員ノ健康ニ付キマシテ種々ナル改善ガサレタヤウニ御認ニナルノデゴザイマセウカ、依然トシテ海員ノ健康ハ、色々結核ダトカ云フヤウナコトガヤルヤウニ伺ッテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ通信省ノ方カラ此ノ關係ニ付テチヨット御意見

ヲ伺ッテ置キタイト思フデアリマス

○委員長(男爵大森佳一君) 説明員ニ説明ヲ許シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵大森佳一君) ソレデハサウ云フ風ニ願ヒマス

○説明員(米田富士雄君) 御許ヲ得マシテ私カラ御答辯申上ゲマス、優秀船ガ出來マスニ伴レマシテ、船内ニ於キマスル船員ノ生活狀況ト言ヒマスカ、サウ云フモノノ設備モ漸次改善サレテ參リマシタ、例ヘバ採光ノ場合デアルトカ、或ハ船内ノ寢臺トカ云フヤウナコトニ付キマシテ、色々能率的ニ、衛生的ニ改善サレテ居リマス、ソレカラ昨年ノ三月カラ實施サレマシタ船員法デゴザイマスガ、食糧品ニ付キマシテ、是ハ「カロリー」ノコトニ付キマシテ或程度以上ノ「カロリー」ヲ持ッタ食糧品ヲ與ヘルト云フ風ニ色々改善サレテ參リマシタノデアリマス、又船醫ナドガ、現在ハ或程度貨物船ナドニ付キマシテハ船醫ト致シテハ乗ッテ居ラナカッタノデアリマスガ、ソレガ遠洋航海ヲスルヤウナ貨物船ニ付キマシテハ、皆此ノ船醫ヲ有スルト云フヤウニ此ノ點ハ強

制スルヤウニ致ス積リデアリマス、併シ是ハマダ實施致シテ居リマセヌガ、近ク實施

ヲスルコトニナッテ居リマス、ソレカラ只今色々實施シテ居リマス醫療ノ方法等ニ付キマシテモ、無線ニ依リマシテ、病氣例ヘバ船内デ急病人ガ出來タリシタ場合、ソレヲドウ云フ風ニ處置シタラ宜イカト云フヤウナコトヲ陸ノ方ノ病院ト連絡致シマシテ、其ノ方ノ指示ヲ受ケテ療養手當ヲヤルト云フ風ニナッテ居リマス、是モ最近ハ盛ニ利用サレテ居リマス、私共ノ所ハ報告ニ參リマス者ヲ見マシテモ、サウ云フ方法ニ依ッテ可ナリ多クノ人ガ救ハレテ居ルト云フコトヲ見受ケラレマス、サウ致シマシテ、船員ニ關スル醫療、衛生ノ方面ハ數年前ニ較ベレバ可ナリ進歩シテ、色々改善サレテ居ルトハ思ヒマスガ、併シナガラマダ實際ニ出テ參リマスルモノニ付キマシテハ、今申上ゲマシタヤウナ病氣、例ヘバ肺結核トカ或ハ傳染病ナドト云フモノハ矢張り依然トシテゴザイマスノデ、私共ノ方ト致シマシテハ船員法ノ施行ガマダ日ガ淺イ爲ニ、サウ云フモノガドノ程度迄輕減サレテ居ルカト云フコトニ對スル統計ヲ申上ゲルダケノ資料ガナイノハ甚ダ残念デゴザイマスガ、私共ト致シマシテハモウ少シ此ノ醫療或ハ衛生ニ關スル施設ニ付テハ色々ヤッテハ居リマスガ、船關係ノモノガ多イト云フコトカラ、依然

ハマダ實施致シテ居リマセヌガ、近ク實施

トシテ斯ウ云フ病氣ガ多イ譯デアリマス

○子爵富小路隆直君 皆サンニハモウ御質問モナイヤウニ存ジマスカラ、是カラ御懇談ニ移ラレテハ如何デスカ

○委員長(男爵大森佳一君) ソレデハ速記ヲ止メテ懇談會ニ致シマスカ、ソレデナク正式ニ止メテ、サウシテカラ此處デ殘ツテヤツテハ如何デスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(男爵大森佳一君) ソレデハ三法案ニ付キマシテノ御質問ハ大體盡キマシタヤウデアリマスルカラ、此ノ程度デ打切ツテ置キタイト思ヒマス、今日ハ是デ散會ヲ致シタイト思ヒマス、明日ハ午後一時半カラ開會ヲ致シテ、サウシテ御質問ガアリマセスケレバ、直チニ討論ニ移リタイト思ヒマスカラ、御了承置キヲ願ヒマス

午後二時三十七分散會

出席者左ノ如シ

- 委員長 男爵大森 佳一君
- 副委員長 子爵實吉 純郎君
- 委員

- 公爵鷹司 信輔君
- 侯爵蜂須賀正氏君
- 伯爵堀田 正恒君
- 子爵松平 保男君

子爵富小路隆直君

織田 萬君

河井 彌八君

男爵小池 正晁君

河原田稼吉君

下村 宏君

男爵園田 武彦君

濱口儀兵衛君

松岡 潤吉君

國務大臣

厚生大臣 廣瀨 久忠君

政府委員

保險院長官 進藤 誠一君

保險院總務局長 佐藤 基君

保險院社會保險局長 清水 玄君

保險院書記官 川村 秀文君

説明員

遞信書記官 米田富士雄君

昭和十四年三月二十四日印刷

昭和十四年三月二十五日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局